

 <p>長久手市長 佐藤有美</p>	<p>愛知県</p>  <p>市章</p> <h1>長久手市</h1> <p>NAGAKUTE CITY</p>  <p>あいさつ運動・ごみ拾い運動に取り組んでいます。 あたたかく美しいまちをつくりましょう！</p>	<p>【 データ 】</p> <p>※令和6年3月31日現在</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口 61,077 人 ・世帯数: 25,766 世帯 ・面積: 21.55km² ・市の花: サツキ ・市の木: カエデ <p>【担当】</p> <p>長久手市福祉部健康推進課 0561-63-3300</p>
---	--	---

◆長久手市の紹介

長久手市は、2012年1月に単独市制施行により愛知県で38番目の市として誕生し、10周年を迎えました。

名古屋市や豊田市と隣接し、市の西部は、土地区画整理事業により新しい都市のまちなみが広がり、東部には、昔ながらの田園風景が残る、都市と田園という両面を合わせ持つのが特徴のまちで、ベッドタウンとして発展してきました。

若い世代を中心に人口増加が続いており、2020年の国勢調査で平均年齢40.2歳となり「日本一若い市」となっています。



◆まちの未来をつくるための6つの重点政策

「市民の今を支え、まちの未来をつくる」のキャッチフレーズの下、現在や未来の課題にしっかりと向き合い、6つの重点政策「子どもがすくすく育つまち」、「高齢者に優しいまち」、「誰もが希望をもてるまち」、「文化芸術・スポーツのまち」、「自然環境を大切にするまち」、「安心安全なまち」に取り組んでいます。

◆第6次長久手市総合計画「ながくて未来図」に掲げる将来像の実現

将来像：幸せが実感できる 共生のまち 長久手

「共生」は、一人の力では決して成り立たず、多世代が関わり混ざり合うことで成り立ちます。多くの人に関わると、意見が合わずもめたり、時間がかかったりして、うまくいかないこともあります。しかし、そうした過程が、市民の力、地域の力を育みます。人と人、人と地域、人と自然、様々なものがつながり、「共生」することで、幸せが実感できるまちを目指します。



◆ジブリパークを活かした魅力あるまちづくり

2005年に万博の会場となった「愛・地球博記念公園（モリコロパーク）」内に、2022年11月にジブリパークがオープンしました。森と相談しながらつくっているスタジオジブリ作品の世界を表現した公園で、森や道をそのままに、自分の足で歩いて、風を感じながら、秘密を発見する場所です。

長久手市では、「ようこそ長久手へ！」という想いを込めて、ジブリパークを盛り上げるためのイベントや取り組みを行っています。今後も、ジブリパークを活用した魅力あるまちづくりを推進します。

◆「あいさつ運動」・「ごみ拾い運動」宣言

2023年3月28日に、ジブリパークがある愛・地球博記念公園で「あいさつ運動」・「ごみ拾い運動」に賛同した近隣の12市町（瀬戸市、春日井市、小牧市、尾張旭市、豊明市、日進市、清須市、北名古屋市、みよし市、東郷町、豊山町、長久手市）が集まり、宣言式を行いました。

ジブリパークは、ホスピタリティの精神を持った温かい地域に存在しているのだと感じてもらえるよう、私たちは「笑顔であいさつすること」「ごみが落ちていないきれいなまちをつくること」に取り組んでいます。

「宣言」

私たちは、この地域に暮らすみんなで協力し、小さな努力を積み重ね、子どもたちが誇れるまちにしていくことを宣言します。

- ー. 1日に1人以上、あいさつをしよう
- ー. 1日に1つ以上、ごみを拾おう

◆健康づくりに関わる市民団体

『食と健康を考える会』

ボランティア団体として食生活に関する知識の普及・啓発を実施しています。現在29名の会員で、保健センター事業として離乳食教室、朝食講座等の事業など、食生活を通じて市民の健康づくりをサポートしています。

